

涙で学び舎を後に

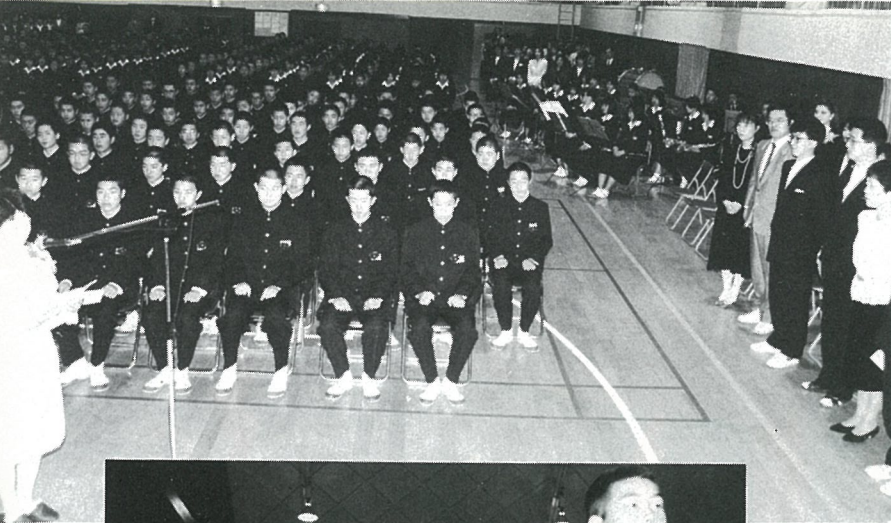
中学校卒業式

卒業シーズン。町内でもトップをきって、中学校の卒業式が3月14日に行われました。この日男女合わせて162人が、たくさんさんの思い出を胸に新しい一歩を踏みだしました。

新たなステップ

胸に赤い花をつけた卒業生は、緊張した表情で式に望みました。式は、厳粛に行われ3年間の最後にふさわ

しく立派なものでした。教室に入ってから、いつまでも涙を流し別れをおしんでいました。



▲厳粛に行われた卒業式
青少年相談員の方がたからカーネーションのプレゼント



「がんばってね」先生の励ましの言葉

お世話になりました

『3年間の思い出が』

向後 睦美さん

友達や先生の顔を見るたびに、3年間の思い出が頭に浮かび上がってきます。悲しい事、うれしい事、楽しかった事……。おもわず、涙がこみあげてきます。長いようで短かった3年間。この光中の生徒として、卒業できることを、大変ほこりに思います。今まで見守ってきてくださ

ったみなさんに、心からお礼を申し上げます。
「ありがとうございます」

『長いようで短かった』

鵜澤 里映子さん

中学校生活は、長いようで短かったです。
この卒業を新しい人生の第一歩として、これから歩み続けていきたいと思えます。

『私は、幸せ』

鬼島 真澄さん

今日の卒業式で、私は幸せだ。ということ、改めて深く感じました。たくさんの人に「おめでとう」と言われ、その度に3年間の思い出が一つづつよみがえってきました。式の最中には、何か、こみあげてくるものがありました。いつも迷惑をかけていたのに、先生方も笑顔で私たちの門出を祝ってくれたからです。

『感謝の気持ちでいっぱい』

市田 慎一郎くん

中学生活の3年間は、長いようで短かった。今、思えば、入学した時がきのうのように思えてくる。

『3年間の思い出が』

星野 吉克くん

卒業式が終わった後、教室で先生の話聞きながら泣きそうになりました。3年間をふり返えり、よく頑張ったと思いました。

『別れが、とてもつらい』

鈴木 佐知子さん

卒業式の練習が少なかったせい、今日の卒業式はあんまり実感がなかった。ここに来て、時の流れというものとても早く感じた。みんなと別れてしまうのはとてもつらかった。